



高岡天ヶ城麓地区歴史的街なみづくり

ワークショップだより

2号

平成22年12月18日(土) 第2回ワークショップ

高岡町天ヶ城麓地区の街なみづくりについて考えるワークショップも今回で2回目。前回は、班に分かれてのまち歩きを行い、活発で熱い議論が繰り広げられました。

今回は12月18日の午前10時から、高岡天ヶ城麓地区武家住宅にて約30名の参加者のもと、県景観アドバイザーで県建築士会(宮崎市景観整備機構)の松竹さんの進行により開催されました。前回のワークショップでのまち歩きや議論の結果をもとに、地域の将来のイメージや方針に関する重要なテーマについて、4つの班ごとに真剣に話し合いました。

ワークショップの流れ

第1回「まちを共有し、課題を探ろう」

11月27日(土) 13時~16時

高岡天ヶ城麓地区武家住宅

・まちを歩き、地区の魅力や問題を共有する。

済

第2回「将来像を考えよう」

12月18日(土) 10時~12時

高岡天ヶ城麓地区武家住宅

・守り育てる要素、まちづくりの方針を検討する。

ココ

第3回「実現に向けて話そう」

1月22日(土) 9時半~12時

高岡天ヶ城麓地区武家住宅

・まちの将来像や具体的なルール等を検討する。

グループ作業

今回は、前回の班とほぼ同じメンバー構成にて議論を行いました。ワークショップに入る前にウォーミングアップ。自分自身の今年一年を表す漢字と高岡について連想する漢字を一字ずつ考え、班のメンバーに紹介しました。

そしていよいよワークショップ。前回作成した班ごとのまち歩きマップを再整理します。まち歩きにて自分達が撮影した写真をマップ上に貼り、議論を行うことで、それぞれの参加者が地区内の魅力や課題について再認識しました。



プログラム

10:00 開会

- ファシリテーター紹介
- 前回ワークショップのおさらい

10:10 グループ作業

- 班内自己紹介
- 課題と魅力を再整理

10:50 グループ討議

- 他の班との情報交流
- 将来像キャッチフレーズの作成

12:00 グループ発表

- 議論内容・キャッチフレーズ発表

12:15 講評・閉会



グループ討議 (ワールド・カフェスタイル)

「ワールド・カフェスタイル」という会議手法により、他の班との情報交流を行いました。各班でお父さん・お母さん役を決め、二人を残して他の班を訪問。お父さん・お母さんは訪問してきた他の班の参加者に自分達の班の意見について説明し、交流を行いながら相互理解を深めました。

その後、それぞれの班に戻り、交流で得た意見や自分自身のアイデアなどを持ち合いながら議論を深めていき、その結果をもとに班ごとの「将来像キャッチフレーズ」を考え、各お父さん役が発表しました。



ワールド・カフェスタイルとは?

カフェ(喫茶店)にいるような雰囲気の中、少人数のグループで自由に対話を行い、時々他のグループとメンバーを交換しながら話し合いを発展させていくこと。相互理解を深め、創造的なアイデアを創出していく手法です。



1班 「人と歴史がふれあう美しいまち」

- ・昔ながらの内山神社の祭りや行事(子供たちによる灯籠(つる)飾りや厄払い祈願など)の復活や他地区の祭りとの連携など、三世代が集い、ふれあえるようなまちづくりを行っていききたい。
- ・内山神社前の武家門や並木などの、美しく歴史的な雰囲気を活かした街なみの整備を目指していききたい。

3班 「くらしやすい昔の音が聞こえるまちづくり」

- ・石垣、瓦屋根、水路跡(内山神社前)など、歴史的な資産の保存や掘り起こしを行い、これからも大切にしていきたい。
- ・一方で、狭い道路による交通問題や家の石垣整備と駐車場確保のバランスなど、住む人たちの生活にも配慮した、暮らしやすさと歴史が調和したまちづくりを行うことが重要。

アドバイザー(松竹さん)の一言

第2回目のワークショップ(WS)お疲れ様でした。前回のまち歩きで気付いたキーワードから、「将来の高岡町がこうあるといいな〜」というメッセージづくり…が今回の大きな目的でした。町在住のご家族に見立ててのWSでしたが、それぞれのご家族から温もりのあるメッセージが届きました。今を生きる私達が皆で楽しくまちづくりに取り組むことが、人・街・そして時間を繋ぐ絆をつくり、まちの表情(景観)になるのだな…と実感しています。次回は具体的なまちの表情の有り様を、また皆で楽しく考えてみたいと思います。

2班 「いつまでも色あせない記憶」 〜歴史と生活(くらし)が共存した、 いやされるまちなみ〜

- ・石垣、神社参道、水路跡、武家門などは、歴史の記憶としていつまでも残していくとともに、看板や建物のデザインなどの配慮が必要。
- ・一方で、老朽化した武家門や小学校前通りの狭い歩道などの整備も重要。住む人たちの生活(くらし)と歴史が共存した、誰もがいやされる街なみづくりを行っていききたい。

4班 「歴史と緑が豊かなまち」 〜思い出とのかけ橋〜

- ・武家門や石垣など歴史的な資産や、竹垣やイチヨウ・クロガネモチに代表される樹木などの豊かな緑を保全していきたい。
- ・単に資産を保全するのではなく、人々の心の豊かさも重要。思い出を語り心あたたまることができる人々の「かけ橋」としてのまちを目指していきたい。

次回は1月22日(土) 9時半~12時

場 所: 高岡天ヶ城麓地区武家住宅

テーマ: 「実現に向けて話そう」

是非、ご参加ください!

■問い合わせ

・高岡天ヶ城麓地区歴史的まちなみ整備住民協議会
松木(会長)、岩崎(副会長)、松浦(事務局)

電話 82-5189

・宮崎市景観課 沼口・柿木 電話 21-1817